

2025年度 仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科
学校推薦型選抜(公募推薦) 入学試験問題
小論文

受験番号	氏名
------	----

[問題] 以下の記事を読み、設問に答えよ。

サラ川で考える「日本の教育」

「サラっと一句！わたしの川柳コンクール（略してサラ川）」は、「第一生命サラリーマン川柳」として1987年にスタートしました。それから35年、日本では少子高齢化やグローバル競争の激化、急激な技術革新、価値観の多様化など、様々な変化が起きました。同時に、こうした変化に対応するための「教育改革」も行われてきました。

1990年代は大学進学率が急上昇し、若者の高学歴化が進みました。一方、過度な受験競争や詰め込み型の知識偏重教育が問題視され、2002年からは「ゆとり教育」として、豊かな人間性や個性を伸ばす教育へ舵が切られました。そうしたなかでも、グローバル化や産業構造の変化はますます進み、日本企業の競争力はさらに低下。2011年からは脱ゆとり教育に転換し、外国語教育や理数教育の充実が図られました。2010年代後半からは、AI（人工知能）が台頭し始め、学校ではプログラミング教育、社会人ほりカレント教育への注目が高まっています。

(中略)

サラ川には世代間ギャップに悩む作品が昔から多くあり、教育はそうした世代の括り方にも関連しています。価値観が新しいといわれた「新人類」は、1979年に始まった共通一次試験（現・大学入学共通テスト）を最初の頃に経験した層と重なり、「ゆとり世代」は2002年度から実施の学習指導要領の下、いわゆる「ゆとり教育」を受けた層とされています。

ゆとり教育は、団塊ジュニア世代頃の過熱する受験競争や、詰め込み型の知識偏重教育を見直すために導入されました。完全週5日制や授業時数の削減により「ゆとり」を持たせるとともに、科目横断的な学習を行う「総合的な学習の時間」を創設するなど、自ら学び考える「生きる力」の育成を目指しました。

ゆとり世代はネガティブな印象を持たれがちですが、飲みの誘いを断る≒はっきり「No」が言える、とポジティブに捉えることもできます。今後も多様で新しい世代が社会に出てきます。「今は今」と受け入れ、時に川柳にしながら、価値観や考え方の違いを楽しんでいきたいものです。

本誌に登場する教育に関連する主な動き

1990 ～ 1994 年	過去 50 年間の 18 歳人口のピーク 受験競争の過熱化 就職氷河期突入
1995 ～ 1999 年	大学進学率急上昇
2000 ～ 2004 年	「ゆとり教育」開始 完全学校週 5 日制導入
2005 ～ 2009 年	教育基本法改正 4 年制大学への進学率が 50% 超
2010 ～ 2014 年	授業時間数増加等による「脱ゆとり化」 小学校で「外国語活動」が必修化 グローバル人材の育成促進
2015 ～ 2020 年	海外留学・留学生の受入れ増加 PISA※にて日本の「読解力」急落 AI（人工知能）の台頭
2020 年～	コロナ禍による国際交流の縮小 小中学校への 1 人 1 台端末導入 小学校でプログラミング教育が必修化 リカレント教育・リスキリングの広まり

※ OECD 生徒の学習到達度調査の略称で、国際的な学習到達度に関する調査。15 歳児（日本では高校 1 年生）を対象に読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの 3 分野について、3 年ごとに調査を実施。

ゆとり教育

新人類 今は普通のサラリーマン

モカ再度 (第13回 1999年)

昔はと 上司言うけど 今は今

栗ポソ (第27回 2013年)

ゆとりでしょ? そう言うあなたは
バブルでしょ?

なおまる御前 (第30回 2016年)

「飲み行くか?」 ゆとり世代は
「すみません」

たたたー (第32回 2018年)

さとり社員 叱らず許す ゆとり社員

よみ人知らず (第32回 2018年)

出典：第一生命保険株式会社 第一生命経済研究所
「第一生命サラッと一句! わたしの川柳コンクール サラ川で考える『日本の教育』(2023年9月版)」
https://event.dai-ichi-life.co.jp/company/senryu/common/pdf/sarasen_2023th_fix.pdf、一部改変

- 設問 1. 文章を読んで、日本の教育がどのように変化してきたのか「ゆとり教育」を中心にその変遷について述べなさい。
(400字程度)
- 設問 2. 文章を読んで、実社会における異なる世代間交流や新しい働き方をふまえて、今後あなたが必要と考える「学び」について述べなさい。
(400字程度)